

## 記者発表資料

鶴見川流域に新たに12の応援団が加わります！



～ 水マス推進サポーター認定 ～

鶴見川流域では、「鶴見川流域水マスタープラン(通称:水マス)」を策定し、市民、市民団体、企業及び行政が連携して水循環系の健全化に取り組んでいます。

この取り組みの促進のため、流域貢献活動を行っている団体を水マス推進サポーターとして今回新たに12団体を認定しました。

例年、水マス推進サポーター認定式を開催しておりますが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、認定証の交付を郵送により、実施しました。

### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、神奈川県政記者クラブ、東京都庁記者クラブ

### 問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所

副所長 太田 敏之 (おおた としゆき) 代表 045-503-4000

流域調整課長 四十物 利孝(あいもの としたか) 直通 045-503-4009

## ■水マス推進サポーター制度

鶴見川流域では、平成16年8月に鶴見川流域水協議会（国土交通省、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、町田市、稲城市）により策定された「鶴見川流域水マスタープラン（通称：水マス）」の普及啓発を図るため、関係する流域の市民団体、企業及び行政により「ふれあって流域鶴見川実行委員会」を設置し、水マス啓発の活動を進めています。

この取り組みの一つとして、水マスのビジョンに沿った「流域貢献活動」をすでに行っている団体・企業を鶴見川の応援団「水マス推進サポーター」として認定し、それぞれの主体による「流域貢献活動」を通じて水マス推進のための情報交換や貢献活動の連携の輪に加わって頂くための仕組みが「水マス推進サポーター」制度です。

「水マス推進サポーター」制度は平成22年度からスタートし、令和2年度新規認定サポーターの12団体を含めて162の団体・企業となります。

## ■令和2年度「水マス推進サポーター」認定団体一覧

団体・企業名	活動内容	活動場所
菅田町小川アメニティ水辺愛護会	○毎月第一土曜日に定例の清掃除草活動を実施している ○源流部に草が復活することを目標に清掃している	砂田川源流部 (菅田町小川アメニティ)
砂田川水辺愛護会	○毎月第一日曜日に定例の清掃除草活動を実施している ○毎年7月の第一日曜日は地域の学校と共同でクリーン作戦と称して清掃を行っている ○国土交通大臣表彰、横浜市永年表彰を受賞している	砂田川 (下村橋～駒形橋)
梅田川水辺愛護会	○毎月第二、第四日曜日に清掃除草活動を実施している	梅田川 (恩田川合流点～朝香橋)
谷本せせらぎふれあいの道水辺愛護会	○毎月第三日曜日に清掃除草活動を実施している ○途中には谷本小学校の生徒たちが管理する花壇があり草花を植えて美化に努めている ○横浜市永年表彰を受賞している	鶴見川支流 (谷本せせらぎふれあいの道)
水辺さわやか会	○夏は草が伸びたら随時、それ以外は月に1回第4日曜日に清掃除草活動を実施している ○機械が届かない場所や芝・土手・川の淵なども清掃にしている ○横浜市永年表彰を受賞している	奈良川 (奈良川親水広場)
都田江川水辺愛護会	○月に1回から2回清掃除草活動を実施している ○チューリップ・サンパチエスの植付を近隣住民とともに年に1回実施している ○国土交通大臣表彰、横浜市永年表彰受賞している	鶴見川支流 (江川せせらぎ緑道)
一本橋メダカひろば水辺愛護会	○月に1回から2回清掃除草活動を実施している ○梅田川水辺の楽校協議会メンバーとして毎年7月開催の「こども川の日」イベント運営協力している	梅田川 (一本橋下流～梅田川橋上流)
TANAKAホールディングス株式会社	○鶴見川網島左岸河川でのノカンゾウの植栽活動 “花咲く鶴見川”アクションプランの応援	網島河川敷
株式会社DNPテクノパック紙器製造本部横浜工場	○DNPテクノパック紙器製造本部横浜工場でのノカンゾウの育成と流域への植栽活動 “花咲く鶴見川”アクションプランの応援	DNPテクノパック紙器製造本部横浜工場
小山田キスゲの会	○町田市立上小山田みつやせせらぎ公園の外来種に覆われた広場をヤブカンゾウ、ノカンゾウにおきかえていく活動を実施している	町田市立上小山田みつやせせらぎ公園
特定非営利活動法人 町田フレンズサポート	○町田市立総合体育館の施設を利用して水をため、地域の人たちと稲の育成をしている	町田市立総合体育館
恩田川カワセミ研究会	○東京都が流下阻害対策として行う樹木伐採の際に、カワセミの生息に必要な樹木について、その保全の調整をしている	恩田川(主に東京都管理区間)

# 水マス推進サポーターの活動状況(1)

①菅田町小川アメニティ水辺愛護会



親水水路の清掃及び除草活動

②砂田川水辺愛護会



河川の清掃及び除草活動

③梅田川水辺愛護会



河川の清掃及び除草活動

④谷本せせらぎふれあいの道水辺愛護会



親水水路の清掃及び除草活動

⑤水辺さわやか会



河川の清掃及び除草活動

⑥都田江川水辺愛護会



親水水路の清掃及び除草活動



# 水マス推進サポーターの活動状況(2)

⑦一本橋メダカひろば水辺愛護会



河川の清掃及び除草活動

⑧TANAKAホールディングス株式会社



ノカンゾウの植栽  
“花咲く鶴見川”アクションプランの応援

⑨株式会社DNPテクノパック  
紙器製造本部横浜工場



ノカンゾウの植栽  
“花咲く鶴見川”アクションプランの応援

⑩小山田キスゲの会



ノカンゾウビオトープの設置

⑪特定非営利活動法人 町田フレンズサポート



体育館でバケツ稲作

⑫恩田川カワセミ研究会



樹木伐採調査



# 鶴見川流域水マスタープランの概要

鶴見川では洪水、水環境、自然環境、震災・火災、親水に対して、総合的に取り組むことによる「健全な水循環系の構築」を目指し、流域の市民、市民団体、企業、行政が協力して平成16年8月に鶴見川流域水マスタープランを策定しました。策定から10年以上が経過し、これまでの取組みを見直し、地球温暖化など近年の状況を踏まえ、平成27年12月に鶴見川流域水マスタープランを改定しました。

( 鶴見川流域水マスタープランホームページ [http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin\\_index049.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin_index049.html) )



## ■ 計画の内容

河川及び流域における水害の発生、河川流量の減少と水質汚濁、自然環境の悪化、震災・火災時の防災、減災、水辺とのふれあいの不足の問題・課題に対し、流域の社会動向を踏まえ、水循環系の視点から流域的視野で取り組むべき対応策を以下の5つの流域水マネジメントにまとめています。

### ＜基本方針＞

#### ＜水マス5施策＞

洪水時水マネジメント



☆洪水の危険から鶴見川流域を守ります

- ・流域が一体となった治水安全度の向上
- ・水害に強いまちづくり
- ・地球温暖化に伴う降雨量及び降雨強度の増大、海面上昇等の変化への適応
- ・小流域への豪雨による土砂災害への適応
- ・大規模震災に備えた津波に強い河川施設等の整備

平常時水マネジメント



☆豊かで清らかな水環境を創出します

- ・支川の自然の流量を確保
- ・地下水の保全・涵養と湧水の復活
- ・子供たちが水遊びでき、多様な水生生物が生息・生育・繁殖できる水質に改善
- ・東京湾への汚濁負荷の削減
- ・水を再利用する社会の実現

自然環境マネジメント



☆流域のランドスケープ<sup>o</sup>、生物多様性を保全・創出・活用し自然とふれあえる都市を再生します

- ・流域に残された自然環境の保全
- ・水と緑のネットワークの保全・回復
- ・身近な自然と共生する都市の再生

震災・火災時マネジメント



☆震災・火災時の危険から鶴見川流域を守ります

- ・河川を生かした災害に強いまちづくり
- ・河川とまちの連携による防災ネットワーク化

水辺ふれあいマネジメント



☆河川とのふれあいを通じて、流域意識を育むうらおいのある暮らしを実現します

- ・流域学習の促進
- ・多様な資源を活用した流域ツーリズムの推進
- ・流域の環境に負荷をかけない暮らしの実践